

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【味酒小学校】

＜第6学年：古代の味酒を探る＞

松山総合公園遺跡である大峰ヶ台遺跡を中心に、味酒地区の遺跡や遺物から地域の歴史を学び、子どもたちは、そのすばらしさを再確認して地域愛を深めた。そして、地域のために自分たちができることを考えた。

活動の導入では、考古館の方に講師を依頼し、地域から発掘された遺物の説明や、古代の味酒の資料などの提供をしていただいた。



校区や松山市からたくさんの遺物が発掘されたね。歴史を感じるね。



考古館では高床倉庫を再現しているね。古代の味酒の人々も米作りをしていたんだ。

それを基に古代の味酒の地図、古代の味酒の暮らし、味酒年表の三つの学習課題を立て、グループに分かれて調べた。子どもたちは、探究的な活動を通して、地域から前方後円墳や高床倉庫の一部が発掘されたことからリーダーの存在を知った。そして、山沿いの集落で協力して生活し、米作りを行っていたのではないかと予想し、人々が工夫して知恵を出し合い、味酒の歴史を作ってきたという遠い昔の人々の生活に思いを馳せた。

活動のまとめでは、お世話になった考古館の方々をお招きして、調べて分かったことや考えたことを全体で共有する発表会を開いた。この共通理解によって、子どもたちは、過去から現在、未来へと地域の宝である古墳群や松山城などを守っていくことへの使命を感じながら、自分たちにできることとして、地域のすばらしさを理解し、発信していく意欲を高めた。



※ 子どもたちがまとめた年表や地図は考古館に展示していただいた。